



「GHS混合物分類判定ラベル/SDS作成支援システム（NITE-Gmiccs）」の操作実習

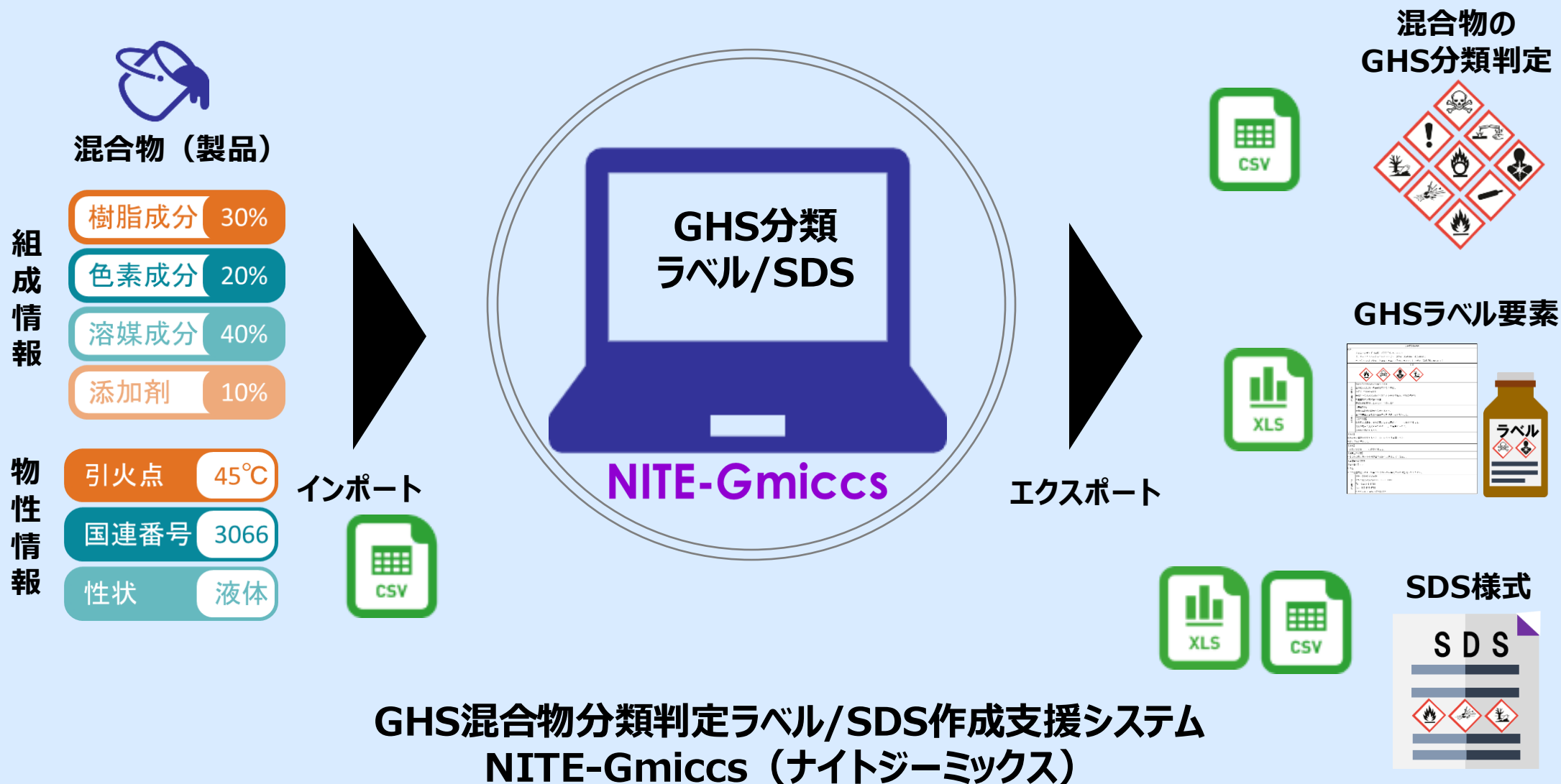
2025年8月22日(金)

独立行政法人製品評価技術基盤機構
化学物質管理センター 情報基盤課



NITE-Gmiccsの概要

NITE-Gmiccsは、混合物のGHS分類、ラベル作成・SDS様式出力をWebブラウザからいつでもどこでも利用できる**無料のシステム**です。



基礎データとして、約3,400の単一物質（組成成分）の
「政府によるGHS分類結果」をNITE-Gmiccsへ収載

「政府によるGHS分類結果」

（便宜上「NITE分類」と呼ぶことがあります）



nite



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare



環境省
Ministry of the Environment

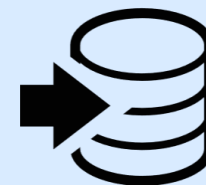
分類結果をNITEが整理・統合
（NITE統合版GHS分類）

ラベル・SDSの作成支援のために
政府がGHS分類を実施
約3,400物質

「EU:CLP調和分類」



ヨーロッパのGHS分類※3
約4,700物質



NITE-Gmiccs

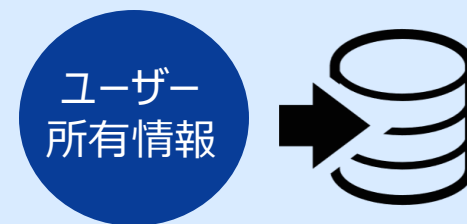
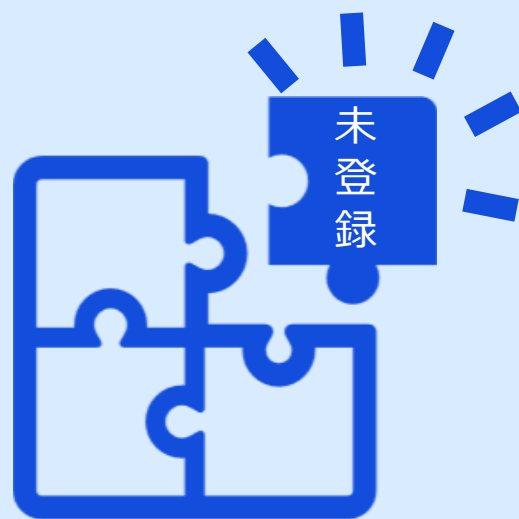
GHS混合物分類判定ラベル/SDS作成支援システム invented by METI
GHS Mixture Classification and Label/SDS Creation System

混合物（製品）に含まれる単一物質※1を選択し、
含有率を入力すれば危険有害性の分類を判定※2します。

- ※1 単一物質のデータがGmiccsに収載されていない（政府によるGHS分類結果がない）
場合は、**ユーザー自身でデータを準備し、NITE-Gmiccsに登録する必要があります。**
政府によるGHS分類の有無は、システム内で検索又は以下のURL先から確認ください。
<NITE統合版GHS分類結果（政府によるGHS分類の最新版を集約）>
https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/ghs/ghs_nite_download.html
- ※2 **物理化学的危険性については一部を除き分類されません。**
ご利用前に必ず「分類ロジック」資料をご確認ください。
https://www.ghs.nite.go.jp/link/ja/gmiccs_ClassificationLogic.html

※3 EUのCLP規則、附属書VI表3で公表されている有害性物質の分類に関する情報です。

混合物（製品）中でNITE-Gmiccsに収載されていない組成成分の
GHS分類結果等は、ユーザー側で登録する必要があります。※



NITE-Gmiccs

GHS混合物分類判定ラベル/SDS作成支援システム invented by METI

※未収載の組成成分については、ユーザー自身でNITE-Gmiccsにデータを登録する必要があります。

組成成分のGHS分類情報を用意し、NITE-GmiccsのStep1で登録します。

組成成分のGHS分類情報が得られない場合は、データなし（分類できない）として登録することになります。

組成成分のGHS分類の参考となる文書については、下記をご参照ください。

<GHS分類方法>

https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/ghs/ghs_classification.html

NITE-Gmiccsでは、2つのGHS分類判定方法が選択できます。
(NITE-Gmiccsでは、便宜上「JISルール」「UNルール」と呼びます。)



国内向け

国連GHS文書（改訂6版）に基づき、
日本産業規格（JIS）※1で選択された濃度限界/
カットオフ値、危険有害性項目の区分に基づき分類



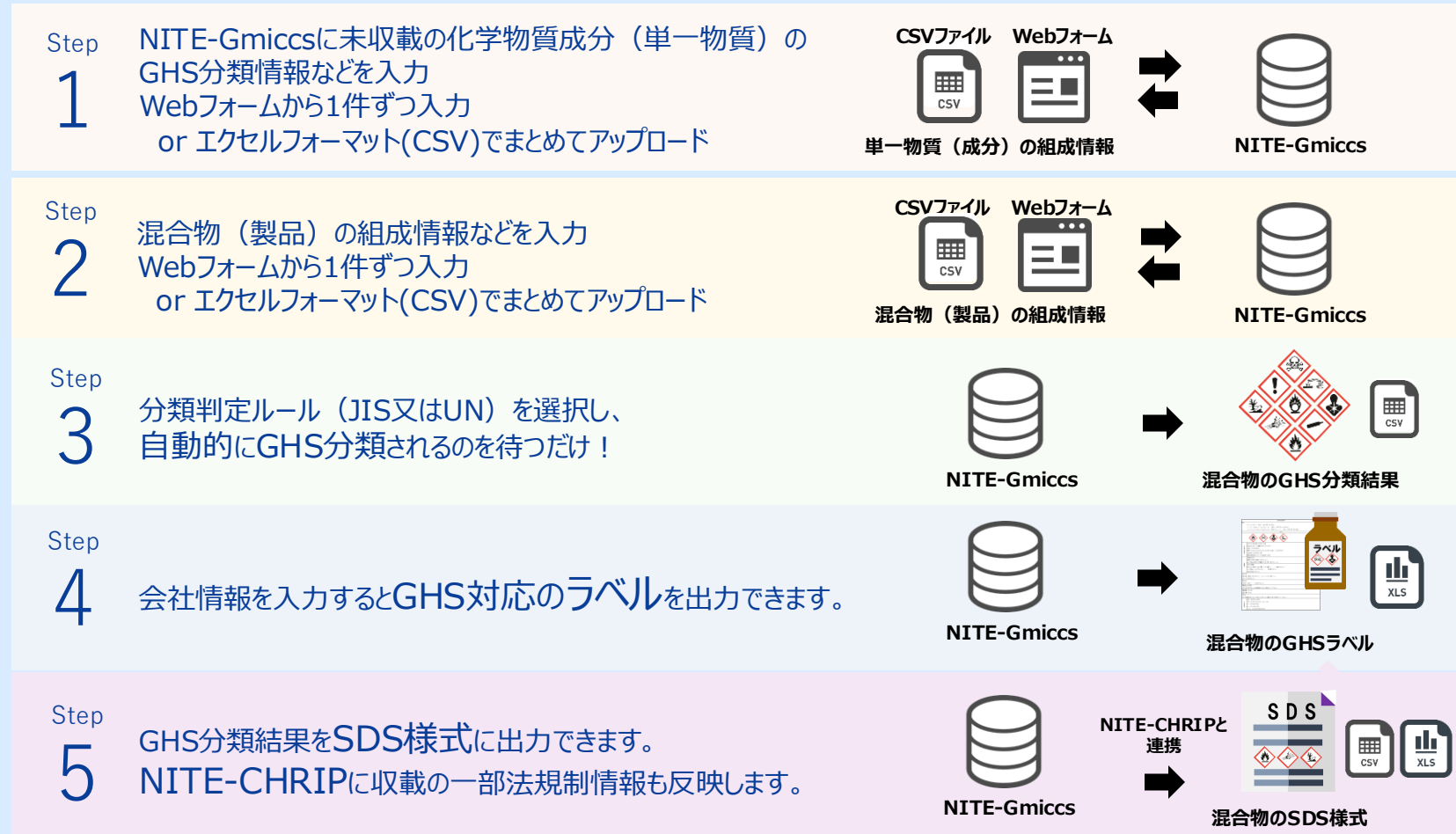
海外向け

国連GHS文書（改訂6版）※2にて採用されている
濃度限界/カットオフ値のうち小さい値、及び危険有害性
項目における全ての区分を採用して分類

※1 JIS Z 7252「GHSに基づく化学品の分類方法」

※2 海外では採用されているGHS国連文書の改訂版が異なる場合があります。ご注意ください。

NITE-Gmiccsの基本的な利用の流れ



※全ての項目が自動的に埋まるわけではありません。
NITE-Gmiccsから出力されたままのラベル／SDS様式では情報伝達できませんので、
混合物（製品）の実態に沿って、ユーザー自身で必須事項等を記載してください。



推奨環境（Microsoft Edge）で
NITE-Gmiccsを立ち上げます。

任意の検索エンジンで「NITE GHS」又は
「NITE Gmiccs」と検索します。



<https://www.ghs.nite.go.jp/>



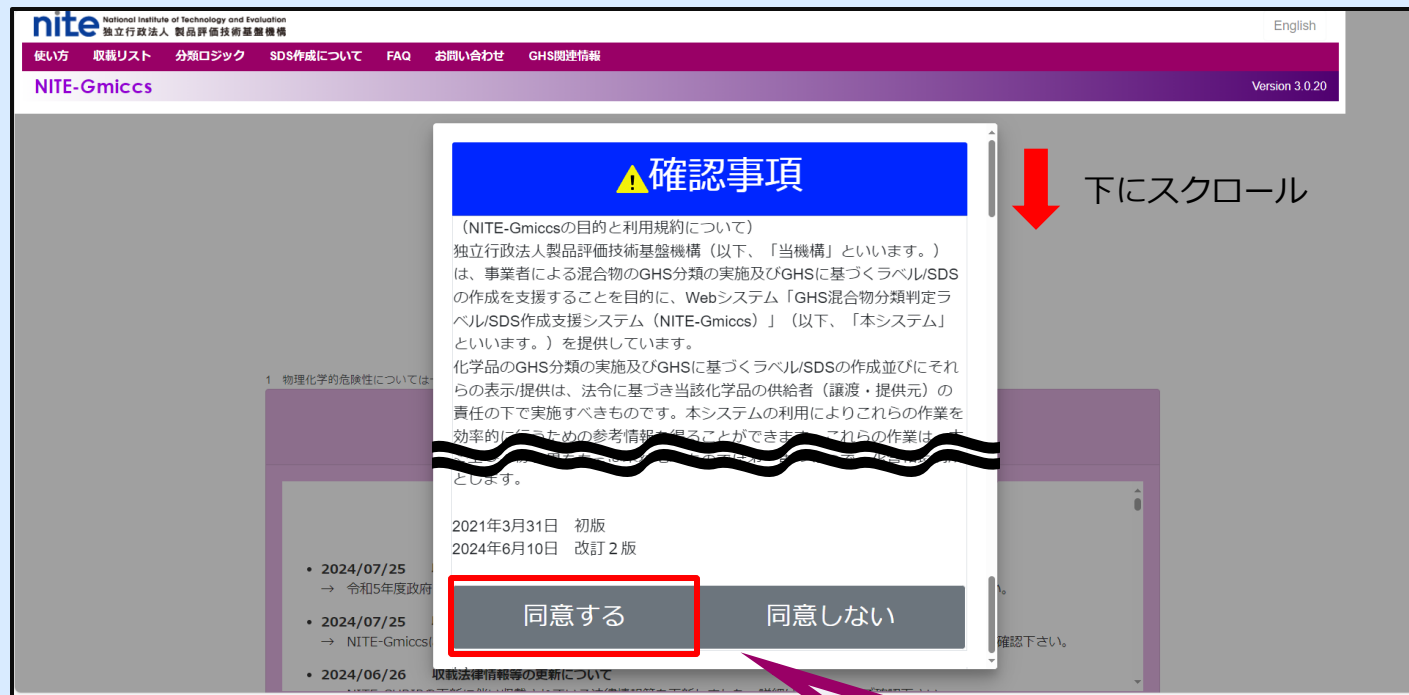
NITEウェブページからもNITE-Gmiccsにアクセス可能です！

GHS総合情報提供サイト（NITEウェブページ）
https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/ghs/ghs_index.html

GHS混合物分類判定ラベル作成システム（NITE-Gmiccs）
<https://www.ghs.nite.go.jp/>



TOPページから「混合物GHSを分類・ラベルを作成する」を選択すると、確認事項（免責事項）が表示されますので、内容に同意いただける場合は「同意する」をクリックしてください。



「同意しない」場合は使えません。

※画面を拡大していると「同意する」ボタンが表示されない場合があります。
「同意する」ボタンが見つからない場合は、画面の拡大率を下げてください。



注意事項

NITE-Gmiccsの特徴まとめ①

人健康/環境有害性
の分類判定



加算式及びカットオフ値で
実施できる分類

1

“一部”の物理化学的
危険性の分類判定



混合物（製品）としての物性データや、
国連番号から分類できる項目あり

2

ラベル要素の
取捨選択・更新



ラベルに印字される危険有害性に
紐づく注意書き（Pコード）の数の
調整や一括更新に

3

分類結果及びラベルの
日英対応

English

データの日英変換を自由に
英語での作業入力も可能

4

大量のデータを
入出力



複数の混合物（製品）情報や
単一物質（成分）情報をCSVで入
出力

5

臓器種名称
統合機能



特定標的臓器の臓器名称を統合
ルールに基づいて統合が可能
ラベル要素の簡略化に

6

譲渡・提供された
SDSの分類確認



他社から提供されたSDSの記載内
容の整合性のチェックに

7

水のGHS分類データ
をあらかじめ搭載



政府分類では実施されていない水
（CAS RN：7732-18-5）の
GHS分類データがあるので、水を含
む混合物の分類が楽に

8



Step 2の「1件ずつ登録」での検索画面で、
このCAS RNか、化学物質(成分)名称に完全
一致にして「水」と入れていただくと検索で
きます

NITE-Gmiccsの特徴まとめ②

化学物質“単体”の分類

混合物ではない単一物質の
分類機能は設けていません。



1

GHS改訂 6 版以外のルールによる分類

国連GHS文書改訂 6 版
以外のルールによる分類は
実行不可
日英以外の言語は非対応



2

ラベル/SDSの全項目の記載

ラベル/SDS様式機能で出力した
ものを、そのまま完成したラベル/
SDSとして使用することはできません。
必ず追記の必要があります。



3

データがない成分を含む 混合物の分類

NITE-Gmiccsに収載されてい
ない組成成分はユーザーが登
録しないと分類できません。



4

システム上にデータ保存

システム上にデータは保存されません。

- ①混合物組成情報
- ②単一物質情報
- ③分類結果、ラベル・SDS様式
は登録・実行後にエクスポートしてください。



5

NITE-Gmiccsから出力される結果について

【政府によるGHS分類結果（NITE統合版） 及びNITE-Gmiccsで判定される結果】

- ・政府によるGHS分類結果（NITE統合版）は、ラベルやSDSを作成する際の**参考分類（※）**
- ・NITE-Gmiccsで判定される結果は、ラベルやSDSを作成する際の**参考結果（※）**
- ・混合物のGHS分類で最も優先されるのは、**混合物そのものの試験データ**

※ラベルやSDSの記載内容の文責は、化学品の譲渡・提供者にあります。
必ず全ての内容を確認してから情報伝達を行ってください。

【NITE-Gmiccsにおける物理化学的危険性の分類判定】

- ・NITE-Gmiccsでは、物理化学的危険性について**基本的に分類できません。**
- ・**“混合物”としてのデータ（引火点、初留点、国連番号等）**があれば、一部の項目のみ判定されます。
- ・多くの物理化学的危険性は判定されないため、**ユーザー自身で分類結果等の追記が必要です。**



NITE-Gmiccsの操作方法

【基礎演習の分類事例】

基本情報

- 混合物ID：NITE-MIX-1
- 混合物（製品）名称：サンプルシンナー

混合物GHS分類用の必要情報

- 物理化学的性状：液体
- 引火点：40℃

	単一物質（成分）名	含有率 （重量%）	CAS RN	NITE分類の有無 （NITE-Gmiccs収載）
1	トルエン	50	108-88-3	○
2	メタノール	40	67-56-1	○
3	酢酸エチル	10	141-78-6	○
		100		

Step 1 : 単一物質(成分)GHS情報 登録済み化学物質（成分）情報の確認

登録済み化学物質（成分）情報の確認

登録化学物質一覧

物質ID

化学物質(成分)名称

CAS登録番号

出典

対象データ ☒ 全データ ☐ NITE登録データ ☐ ユーザー登録データ

☒ 部分一致 ☐ 完全一致

☒ 部分一致 ☐ 完全一致

1. 登録データがあるかどうか、化学物質名称やCAS登録番号で検索できます

(2件取得)

検索実行 クリア エクスポート (CSVファイル)

全件選択 選択削除	物質ID	CAS登録番号	出典	化学物質(成分)名称	GHS分類情報
☐	clp-clh_601-021-00-3	108-88-3	CLP_CLH	toluene	詳細情報 コピー
☐	m-nite-108-88-3	108-88-3	NITE	トルエン	詳細情報 コピー

2. 検索結果が表示されれば登録されたGHS分類データが利用できます

Step 1：単一物質(成分)GHS情報 化学物質（成分）の入力

応用のみ

nite National Institute of Technology and Evaluation
独立行政法人 製品評価技術基盤機構

使い方 収載リスト 分類ロジック SDS作成について FAQ お問い合わせ GHS関連情報

NITE-Gmiccs Version 3.0.20

混合物のGHS分類・ラベル作成

Step 1 Step 2 Step 3 Step 4 Step 5

単一物質(成分)GHS情報 混合物(製品)組成情報 混合物GHS分類 ラベル出力 SDS様式出力

次のステップへ→

Step1 混合物（製品）に含有される化学物質（成分）のGHS情報等を入力・確認する

化学物質（成分）の入力

・複数の化学物質（成分）をまとめて入力する

インポートデータ作成方法

☒ 差分置換 ☐ 全件置換

☒ インポート（CSVファイル）

☐ 1件ずつ登録

「1件ずつ登録」をクリックします

・化学物質（成分）を1件単位で登録する
※Webコマンドで1件ずつ登録する場合はエクスポートでデータを保存することを推奨します。

登録済み化学物質（成分）情報の確認

登録化学物質一覧

物質ID 化学物質(成分)名称 C A S 登録番号 出典

☐ 部分一致 ☐ 完全一致

☐ 部分一致 ☐ 完全一致

☐ ハイフンを含む ☐ ハイフンを除く

Step 1 : 単一物質(成分)GHS情報 基本情報の入力

応用のみ

1. Webブラウザの新しいタブに登録用のページが開きます

2. 必須項目以外はわかる範囲で記載していきます

Step 1：単一物質(成分)GHS情報 化学物質（成分）のGHS分類情報

応用のみ

項目	分類結果
爆発物	
可燃性ガス	
エアゾール	
酸化性ガス	
高压ガス	
引火性液体	区分に該当しない（分類対象外）
可燃性固体	
自己反応性化学品	
自然発火性液体	
自然発火性固体	
自己発熱性化学品	
水反応可燃性化学品	
酸化性液体	
酸化性固体	
有機過酸化物	
金属腐食性物質	
鈍性化爆発物	

1.物理化学的危険性に入手した情報を選択して入れていきます

2.人健康有害性と環境有害性に入手した情報を選択して入れていきます

※未選択の場合は「データなし」と登録され、「分類できない」と同じ扱いとなりGHS分類時には毒性未知成分とされます

項目	分類結果
急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない（分類対象外）
急性毒性（吸入：蒸気）	区分に該当しない（分類対象外）
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分に該当しない
呼吸器感作性	区分に該当しない
皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	区分に該当しない
発がん性	区分に該当しない
生殖毒性	区分に該当しない
生殖毒性・授乳影響	区分に該当しない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分に該当しない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分に該当しない
誤えん有害性	分類できない

Step 1：単一物質(成分)GHS情報

応用のみ

【参考】データのない物質の物性に基づく入力支援機能

登録する物質の物理的
化学的性状（気体、液
体、固体）に合わせて
「分類対象外」となる
項目を自動記載する機
能です

The screenshot shows a web application for GHS classification. At the top, there are three tabs: 'データなし(気体)' (Dataless Gas), 'データなし(液体)' (Dataless Liquid), and 'データなし(固体)' (Dataless Solid). The 'データなし(液体)' tab is selected and highlighted with a red box. Below the tabs, there are input fields for 'フェノール類' (Phenols) and '界面活性剤、その他成分' (Surfactants, other components). The main section is titled '化学物質(成分)のGHS分類情報' (GHS Classification Information for Chemical Substances (Components)). It features a table with two columns: '項目' (Item) and '分類結果' (Classification Result). The '項目' column lists various hazard categories, and the '分類結果' column shows the classification status for each. A red box highlights the '分類結果' column, showing that many items are classified as '分類できない' (Cannot be classified) or '区分に該当しない(分類対象外)' (Does not correspond to the division (Classification excluded)).

項目	分類結果
爆発物	分類できない
可燃性ガス	区分に該当しない(分類対象外)
エアゾール	区分に該当しない(分類対象外)
酸化性ガス	区分に該当しない(分類対象外)
酸化性液体	区分に該当しない(分類対象外)
酸化性固体	区分に該当しない(分類対象外)

1.登録する物質の物理的
化学的性状（気体、液体、
固体）を選択します

2.「分類対象外」となる
項目が自動的に記載されま
す。それ以外の項目は全て
「分類できない」と自動入
力されます

Step 1 : 単一物質(成分)GHS情報 標的臓器毒性の入力方法

応用のみ

1. 特定標的臓器毒性は「区分あり」を選択後、ここをクリックします

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

特定標的臓器毒性

2. ポップアップ画面で臓器を入力できるので、「+行追加」をクリックし「区分」及び「臓器」選択できます
※標的臓器に必要な数だけ行を追加します

3. 入力終了したら「確定」をクリックし登録します

区分	臓器	ばく露経路
区分1	呼吸器系	
区分2	中枢神経系	
	臓器情報なし	

Step 1 : 単一物質(成分)GHS情報 登録化学物質の確認

応用のみ

1.登録完了すると登録用のページが
閉じ、タブがなくなります

2.登録した情報が反映されます
(最後に登録した1件のみ)

登録化学物質一覧

物質ID ☒ 部分一致 ☐ 完全一致

化学物質(成分)名称 ☒ 部分一致 ☐ 完全一致

C A S 登録番号 ☒ ハイフンを含む ☐ ハイフンを除く

出典

対象データ ☐ 全データ ☐ NITE登録データ ☒ ユーザー登録データ

(1 件取得)

検索実行 クリア

全件選択 選択削除

	物質ID	C A S 登録番号	出典	化学物質(成分)名称	
☒	test1	SDS		メラミン樹脂	詳細情報 コピー

Step 1 : 単一物質(成分)GHS情報

【参考】化学物質（成分）のコピー登録

応用のみ

登録化学物質一覧

物質ID ☒ 部分一致 ☐ 完全一致

化学物質(成分)名称 ☒ 部分一致 ☐ 完全一致

CAS登録番号 ☒ ハイフンを含む ☐ ハイフンを除く

出典

対象データ ☐ 全データ ☐ NITE登録データ ☒ ユーザー登録データ

(1件取得)

全件選択 選択削除	物質ID	CAS登録番号	出典	化学物質(成分)名称	GHS分類情報
☐	test1		SDS	メラミン樹脂	詳細情報 <input checked="" type="button" value="コピー"/>

1. 登録した物質に対して「コピー」をクリックすることで入力の省略を行うことができます

3. ID以外の情報が全てコピーされていますので、新たなIDを入力し、名称など必要な情報を書き換えることで省力化して次の物質の登録が可能です

2. 「コピー」をクリックすると、Webブラウザの別タブに登録画面が表示されます

化学物質 (コピー)

基本情報

物質ID 必須

CAS登録番号

化学物質(成分)名称 (日) 必須

化学物質(成分)名称 (英)

出典

メラミン樹脂

SDS

Step 1 : 単一物質(成分)GHS情報 化学物質（成分）の登録確認と登録情報のエクスポート

応用のみ

1. 登録した物質を検索実行し、必要な物質が登録できたかを確認します

物質ID

化学物質(成分)名称

CAS登録番号

出典

対象データ ☐ 全データ ☐ NITE登録データ ☒ ユーザー登録データ

☒ 部分一致 ☐ 完全一致

☒ 部分一致 ☐ 完全一致

☒ ハイフンを含む ☐ ハイフンを除く

(3 件取得)

	物質ID	CAS登録番号	出典	化学物質(成分)名称	GHS分類情報
☐	test1		SDS	メラミン樹脂	詳細情報 コピー
☐	test2		SDS	Sample1	詳細情報 コピー
☐	test3		SDS	アシッドイエロー3	詳細情報 コピー

登録データをエクスポートすることで、Web画面を閉じてしまったとしても、エクスポートデータをNITE-Gmiccsにインポートすることで作業を途中から再開することができます

2. 確認できましたら、登録データを必ずエクスポート（CSVファイル形式）してください
※登録したデータやインポートデータはNITE-Gmiccs上には保存されません

Step 1：単一物質(成分)GHS情報 化学物質（成分）のGHS登録情報のインポート

応用のみ

混合物のGHS分類・ラベル作成

Step 1 Step 2 Step 3 Step 4 Step 5

単一物質(成分)GHS情報 混合物(製品)組成情報 混合物GHS分類 ラベル出力 SDS様式出力

次のステップへ→

Step1 混合物（製品）に含有される化学物質（成分）のGHS情報等を入力・確認する

化学物質（成分）の入力

- ・複数の化学物質（成分）をまとめて入力する

インポートデータ作成方法

☒ 差分置換 ☐ 全件置換

☒ インポート（CSVファイル） ☐ テンプレート

インポート処理が正常終了しました。【ファイル名：Chemical_JP_202410241628.csv】
処理件数：3件

・化学物質（成分）を1件単位で登録する
※Webフォームで1件ずつ登録した場合はエクスポートでデータを保存することを推奨します。

1件ずつ登録

エクスポートしたファイル（ファイル名はChemical_JP_yyyymmddhhmm.csv）をインポートすることでGHS分類作業を再開することが可能です

分類結果に変更があったときは、情報を修正し、差分置換することもできます

Step 2 : 混合物(製品)組成情報

混合物（製品）の基本情報の入力

Step 2のボタン◎を押すか、次のステップへ→で移動可能です



・混合物(製品)組成物質を1件単位で登録する
※Webフォームで1件ずつ登録した場合はエクスポートでデータを保存することを推奨します。

1件ずつ登録

1. 「1件ずつ登録」をクリックしますと、別のウィンドウに登録画面が現れます

混合物（製品）の基本情報

基本情報

混合物ID 必須 ?

混合物(製品)名称(日) 必須 ?

混合物(製品)名称(英) ?

混合物GHS分類用の必要情報

国連番号

物理化学的性状 必須

引火点

初留点（沸点）

動粘性

NITE-MIX-1

サンプルシンナー

液体

40 °C

検索 クリア ?

2. 必須項目以外はわかる範囲で記載します

Step 2 : 混合物(製品)組成情報 化学物質（成分）情報の選択・確認

化学物質(成分)情報の選択・確認

※混合物（製品）に登録してください

1. 化学物質を化学物質名称やCAS登録番号で検索できます

化学物質一覧

物質ID ☒ 部分一致 ☐ 完全一致

化学物質(成分)名称 ☒ 部分一致 ☐ 完全一致

CAS登録番号 ☒ ハイフンを含む ☐ ハイフンを除く

出典

対象データ ☒ 全データ ☐ NITE登録データ ☐ ユーザー登録データ

不足情報を登録する (Step1へ)

(2 件取得)

検索実行 クリア

選択	物質ID	CAS登録番号	出典	化学物質(成分)名称	GH S分類情報
☐	clp-clh_601-021-00-3	108-88-3	CLP_CLH	toluene	詳細情報
☒	m-nite-108-88-3	108-88-3	NITE	トルエン	詳細情報

▼ 追加する

2. 採用するデータにチェックを入れて追加するをクリックします

Step 2 : 混合物(製品)組成情報 組成情報一覧

組成情報一覧

1. 含有率を記入します

含有率の確定 必須

含有率 (100%) への換算

物質ID	CAS登録番号	出典	化学物質(成分)名称	含有量	含有率 (100%)	GHS分類情報
☐ m-nite-108-88-3	108-88-3	NITE	トルエン	50	50.0	詳細情報
☐ m-nite-67-56-1	67-56-1	NITE	メタノール	40	40.0	詳細情報
☐ m-nite-141-78-6	141-78-6	NITE	酢酸エチル	10	10.0	詳細情報

2. 含有率 (100%) への換算をクリックします

閉じる 登録

3. 登録をクリックし、登録画面が閉じStep2へ戻ります

Step 2：混合物(製品)組成情報 登録された混合物の確認

Gmics

https://www.ghs.nite.go.jp/step2/step2_index/ja

Institute of Technology and Evaluation
公益法人 製品評価技術基盤機構

ト 分類ロジック SDS作成について FAQ お問い合わせ GHS関連情報

混合物のGHS分類・ラベル作成

Step 1 Step 2

単一物質(成分)GHS情報 混合物(製品)組成情報

←前のステップへ

Step2 混合物（製品）の基本情報及び組成情報を入力する

混合物（製品）の入力

- ・複数の混合物(製品)をまとめて入力する

1.登録完了すると登録用のページが
閉じ、タブがなくなります

2.戻ったStep 2のページには、登録
した情報が反映されます（最後に登録
した1件のみ）

混合物(製品)ID

組成成分のCAS登録番号

組成成分の含有率

(1 件取得)

検索実行 クリア エクスポート (CSVファイル)

全件選択 選択削除

混合物(製品)ID	混合物名称	組成情報等
☐	NITE-MIX-1	サンプルシンナー

詳細情報 コピー

Step 2 : 混合物(製品)組成情報 不足情報の確認

不足情報一覧

(0 件取得)

物質ID	CAS登録番号	混合物(製品)ID	混合物(製品)名称
------	---------	-----------	-----------

不足情報を確認する※

※不足する情報がある場合はStep1より化学物質（成分）のGHS情報等を入力してください

次ステップへ

不足情報はありませんでした。

2. 不足情報がなければ次のステップへ進むことができます

1. 不足情報を確認する※をクリックします

Step 2 : 混合物(製品)組成情報

【参考】混合物のコピー登録

登録した混合物(製品)組成情報の確認

混合物(製品)一覧

混合物(製品)名称 ☐ 部分一致 ☐ 完全一致

混合物(製品)ID ☐ 部分一致 ☐ 完全一致

組成成分のCAS登録番号 ☐ ハイフンを含む ☐ 以上 ☐ 以下

組成成分の含有率

(1件取得)

全件選択 選択削除	混合物(製品)ID	混合物名称	組成情報等
☐	NITE-MIX-1	サンプルシンナー	詳細情報 コピー

組成が少し違うなど、他の混合物情報（類似混合物の情報を「コピー」する機能を使うことで入力を省略化できます

1. 「コピー」をクリックすると、Webブラウザの別タブに登録画面が表示されます

2. ID以外の情報が全てコピーされていますので、必要な情報に書き換えることで入力を省略し、登録ができます

GHS分類用の必要情報

混合物ID

混合物(製品)名称(日)

混合物(製品)名称(英)

国連番号

物理化学的性質

引火点

初留点（沸点）

動粘性

?

半角英数字のみ（スペース、ハイフン、アンダースコアは使えます）

?

サンプルシンナー

?

?

検索

クリア

?

?

液体

40.0

°C

?

°C

?

mm²/s

Step 2：混合物(製品)組成情報 混合物の登録情報のエクスポート

登録した混合物(製品)組成情報の確認

混合物(製品)一覧

混合物(製品)名称

混合物(製品)ID

組成成分のCAS登録番号 ☒ ハイフンを含む ☐ ハイフンを除く

組成成分の含有率 ☒ 以上 ☐ 以下

(1 件取得)

全件選択 選択削除	混合物(製品)ID	混合物名称	組成情報等
☐	NITE-MIX-1	サンプルシンナー	詳細情報 コピー

混合物の組成情報等を登録したら、登録データは必ずエクスポート（CSVファイル形式）してください
※登録したデータやインポートデータはNITE-Gmiccs上には保存されません

登録データをエクスポートすることで、Web画面を閉じてしまったとしても、エクスポートデータをNITE-Gmiccsに取り込むことで作業を途中から再開することができます

Step 2：混合物(製品)組成情報 混合物の登録情報のインポート

混合物のGHS分類・ラベル作成

Step 1 Step 2 Step 3

単一物質(成分)GHS情報 混合物(製品)組成情報 混合物GHS分類

←前のステップへ

Step2 混合物（製品）の基本情報及び組成情報を入力する

混合物（製品）の入力

- 複数の混合物(製品)をまとめて入力する

インポートデータ作成方法

☒ 差分置換 ☐ 全件置換

インポート (CSVファイル) テンプレート

インポート処理が正常終了しました。【ファイル名：Product_JP_202410280946.csv】
処理件数：1件

エクスポートしたファイル（ファイル名はProduct_JP_yyyymmddhhmm.csv）をインポートすることでGHS分類作業を再開することが可能です

分類結果に変更があったときは、情報を修正し、差分置換することもできます

Step 3 : 混合物GHS分類 GHS分類の実施

1.必要に応じて分類ルール、臓器種付与ルールを変更します

※標的臓器の名称の統合については、
【別紙】 標的臓器統合仕様に基づいています。
https://www.ghs.nite.go.jp/link/ja/content/s/gmiccs_organ_20210401.pdf

混合物GHS判定ルール等を選択する

分類判定ルール 必須



☒ JISルール ☐ UNルール

臓器種付与ルール 必須



☒ 名称を統合する ☐ 名称を統合しない

分類根拠中の成分表示



☐ 物質ID ☐ 物質名称

混合物GHS分類判定一覧

混合物（製品）名称

混合物（製品）ID

分類判定実施 ☐ 未実施 ☐ 実施済 ☒ すべて

検索実行

(1件取得)

全件選択

選択削除

混合物(製品)ID

混合物名称

組成情報等

分類結果



NITE-MIX-1

サンプルシンナー

詳細情報

2.分類を実施する対象の混合物に
チェックをいれます

3.分類実行をクリックします

分類実行※

エクスポート (CSVファイル)

出力言語 日本語

Step 3 : 混合物GHS分類 分類結果の確認

「済」と表示された「分類結果」をクリックすると分類ロジックに基づき判定されたGHS分類結果が新しいタブで表示されます（物理化学的危険性については基本的に分類されません）

全件選択

選択削除

混合物(製品)ID

混合物名称

組成情報等

分類結果

☐

NITE-MIX-1

サンプルシンナー

詳細情報

済

分類結果

項目	分類結果	根拠
急性毒性（経口）	区分に該当しない	分類根拠
急性毒性（経皮）	区分に該当しない	分類根拠
急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない（分類対象外）	分類根拠
	区分4	分類根拠
	分類できない	分類根拠
	区分2	分類根拠
	区分2	分類根拠
	分類できない	分類根拠
	区分に該当しない	分類根拠
	区分に該当しない	分類根拠
	分類できない	分類根拠
	区分1A	分類根拠
	授乳に対するまたは授乳を介した影響に関する追加区分	分類根拠
	区分あり	分類根拠
	区分あり	分類根拠
		分類根拠

分類根拠

混合物(製品)ID

NITE-MIX-1

混合物(製品)名称

サンプルシンナー

分類項目

急性毒性（吸入：蒸気）

区分4: CAS番号: 108-88-3(毒性値=3319ppm 含有率=50% 出典: NITE), CAS番号: 141-78-6(毒性値=14640ppm 含有率=10% 出典: NITE)
区分に該当しない: CAS番号: 67-56-1(毒性値=22500ppm 含有率=40% 出典: NITE)
ATEmix=100 / ((50% / 3319ppm) + (40% / 22500ppm) + (10% / 14640ppm)) 計算結果が5705.9333902ppmのため、区分4に該当。

急性毒性(吸入): 蒸気: mg/lでの計算
区分4: CAS番号: 108-88-3(毒性値=12.5mg/l 含有率=50% 出典: NITE), CAS番号: 141-78-6(毒性値=52.75mg/l 含有率=10% 出典: NITE)
区分に該当しない: CAS番号: 67-56-1(変換値=25mg/l 含有率=40% 出典: NITE)
ATEmix=100 / ((50% / 12.5mg/l) + (40% / 25mg/l) + (10% / 52.75mg/l)) 計算結果が17.2724296mg/lのため、区分4に該当。

危険有害性情報: H332 吸入すると有害

閉じる

更新

分類根拠には判定に至った計算などが記載されます

36

Step 3：混合物GHS分類 サンプルシンナーの分類結果

名称	サンプルシンナー
CAS RN (CAS登録番号)	－
ID	NITE-MIX-1
引火性液体	区分3
急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：ガス）	区分に該当しない（分類対象外）
急性毒性（吸入：蒸気）	区分4（ATE: 5706 ppm, 17.3 mg/L）
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	区分に該当しない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分1A：授乳に対するまたは授乳を介した影響に関する追加区分
特定標的臓器（単回ばく露）	区分1（中枢神経系、視覚器、全身毒性）、区分3（気道刺激性、麻酔作用）
特定標的臓器（反復ばく露）	区分1（中枢神経系、視覚器、腎臓）
誤えん有害性	分類できない
水生環境急性有害性 短期（急性）	区分2（計算値 7.56 mg/L）
水生環境急性有害性 長期（慢性）	区分3（計算値 0.89 mg/L）
オゾン層への有害性	分類できない

Step 3 : 混合物GHS分類

混合物のGHS分類結果のエクスポート

全件選択 選択削除

混合物(製品)ID 混合物名称

組成情報等 分類結果

☐ NITE-MIX-1 サンプルシンナー [詳細情報](#) 済 [分類結果](#)

エクスポート (CSVファイル)

出力言語 日本語

	A	B	C	D	E	F
1	混合物ID	NITE-MIX-1				
2	混合物 (製品) 名称(日)	サンプルシンナー				
3	混合物 (製品) 名称(英)					
4	分類判定ルール	JIS				
5	国連番号					
6	国連番号の補足番号					
7	物理化学的性状	液体				
8	組成物質(1)	m-nite-108-88-3	50 108-88-3	トルエン	Toluene	
9	組成物質(2)	m-nite-67-56-1	40 67-56-1	メタノール	Methanol	
10	組成物質(3)	m-nite-141-78-6	10 141-78-6	酢酸エチル	Ethyl acetate	
11	組成物質(4)					
12	組成物質(5)					
13	組成物質(6)					
14	組成物質(7)					
15	組成物質(8)					
16	組成物質(9)					
17	組成物質(10)					

混合物のGHS分類を実施したら、分類結果をエクスポート (CSVファイル形式) してください
※登録したデータやインポートデータはNITE-Gmiccs上には保存されません
必ずデータをエクスポートしてください

Step 4 ラベル出力

エクスポートが完了しましたら、Step 4へ移動します。
Step 4のボタンを押すか、次のステップへ→で移動可能です

混合物のGHS分類・ラベル作成

Step 1 単一物質(成分)GHS情報

Step 2 混合物(製品)組成情報

Step 3 混合物GHS分類

Step 4 ラベル出力

Step 5 SDS様式出力

←前のステップへ

次のステップへ→

Step3 混合物のGHS分類を実施・出力する

混合物GHS判定ルール等を選択する

分類判定ルール 必須 ? ☒ JISルール ☐ UNルール

臓器種付与ルール 必須 ? ☒ 名称を統合する ☐ 名称を統合しない

混合物のGHS分類・ラベル作成

Step 1 単一物質(成分)GHS情報

Step 2 混合物(製品)組成情報

Step 3 混合物GHS分類

Step 4 ラベル出力

Step 5 SDS様式出力

←前のステップへ

次のステップへ→

Step4 分類結果に対応したラベルを出力する

GHS対応ラベル用の必要情報入力

会社(供給者)情報 ? 編集

会社名

住所

電話番号

Step 3からStep 4に移動します

Step 4 ラベル出力 ラベル要素の確認

「ラベル要素」をクリックすると、別のウィンドウにラベル要素として印字される内容が表示されます

登録した混合物（製品）のGHS情報に基づくラベル要素を出力

混合物一覧

混合物（製品）名称

混合物（製品）ID

注意書き絞り込みレベル

(1件取得)

全件選択 選択削除 混合物ID 混合物名称 組成情報 分類結果 ラベル要素 レベル 件数

0 NITE-MIX-1 メラミンアルキド樹脂 詳細情報 分類結果 ラベル要素 20件

混合物（製品）名称

成分

物質ID CAS登録番号 出典元 化学物質名称 換算含有率

m-nite-108-88-3 108-88-3 NITE トルエン 50.0000000

m-nite-67-56-1 67-56-1 NITE メタノール 40.0000000

m-nite-141-78-6 141-78-6 NITE 酢酸エチル 10.0000000

ピクトグラム（絵表示）

注意喚起語

危険

危険有害性情報および注意書き

注意書き絞り込み レベル2 注意書き件数 12

危険物有害性情報 安全対策 応急措置 保管 廃棄

コード 危険物有害性情報

H226 引火性液体及び蒸気

H315 皮膚刺激

H319 強い眼刺激

Step 4 ラベル出力

注意書き文言の絞り込みレベル

注意書きには
GHS分類結果に
紐づく文言が表示
されます

注意書き文言の数は絞り込み
機能により調整ができます

<注意書き絞り込みレベル※>

- レベル1：強く推奨（一般工業用途として）
- レベル2：強く推奨（1以外への用途を考慮して）
- レベル3：推奨
- レベル4：任意

混合物（製品）名称 サンプルシンナー

成分

物質ID	CAS登録番号	出典元	化学物質名称
m-nite-108-88-3	108-88-3	NITE	トルエン
m-nite-67-56-1	67-56-1	NITE	メタノール
m-nite-141-78-6	141-78-6	NITE	酢酸エチル

（絵表示）

注意喚起語 危険

危険有害性情報および注意書き

注意書き絞り込み レベル2

注意書き件数 12

コード	危険物有害性情報
H226	引火性液体及び蒸気
H315	皮膚刺激
H319	強い眼刺激
H332	吸入すると有害
H335	呼吸器への刺激のおそれ
H336	眠気又はめまいのおそれ
H360	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H362	授乳中の子に害を及ぼすおそれ
H370	中枢神経系、視覚器、全身毒性の障害
H372	長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経系、腎臓、視覚器の障害
H401	水生生物に毒性
H412	長期継続的影響によって水生生物に有害

Step 4 ラベル出力 優先順位の表示設定

混合物（製品）が一部の類似した危険有害性を複数示す場合は、JIS Z7253の優先順位に基づき、表示の省略等を実施する仕様となっています

適用しないを選択すると、優先順位に基づく省略を行う前の表示とすることができます

ピクトグラム（絵表示）

注意喚起語 危険

危険有害性情報および注意書き

注意書き絞り込み レベル2

危険有害性情報 安全対策 応急措置

コード	危険物有害性情報
H301	飲み込むと有毒
H314	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H332	吸入すると有害
H411	長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書きレベル更新 レベル4 レベル一括更新

優先順位の表示設定 適用しない 優先順位一括適用

ピクトグラム（絵表示）

注意喚起語 危険

危険有害性情報および注意書き

注意書き絞り込み レベル2

危険物有害性情報 安全対策 応急措置

コード	危険物有害性情報
H301	飲み込むと有毒
H314	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H318	重篤な眼の損傷
H332	吸入すると有害
H401	水生生物に毒性
H411	長期継続的影響によって水生生物に毒性

Step 4 ラベル出力

ラベル用の必要情報入力 会社（供給者）情報

Step4 分類結果に対応したラベルを出力する

GHS対応ラベル用の必要情報入力

会社（供給者）情報



編集

会社名

2. 入力フォームから直接入力することもできますが、会社（供給者）情報を記載したCSVファイルをインポートすることで入力の手間を省略することができます。テンプレートファイルをダウンロードして、ご利用ください

データ作成方法

インポート（CSVファイル）

テンプレート

会社名

（販売元）〇〇株式会社
（製造者）株式会社△△△

住所

（販売元）〒XXX-XXXX 東京都〇〇区
（製造者）〒XXX-XXXX 神奈川県〇〇市〇〇区

電話番号

03-XXXX-XXXX

電子メールアドレス

* 営業秘密や個人情報等をラベル又はSDSに記載する必要がある場合は、本システム上（Step 4（ラベル出力）又はStep 5（SDS様式出力））ではなく、本システムからエクスポートしたファイルにご記載ください

1. 出力するラベルに問題がなければラベル供給者名や郵便番号、住所など必須事項を入力していきます。編集ボタンから入力画面を開きます

Step 4 ラベル出力

【参考】毒物及び劇物取締法（毒劇法）の表示

ファクシミリ(FAX)番号

緊急連絡番号

ラベル要素上のCAS登録番号表示 必須

☒ 表示する ☐ 表示しない

毒物及び劇物取締法に該当する組成成分を含む場合の「医薬用外毒物」「医薬用外劇物」の表示 必須 ?

☒ 表示する ☐ 表示しない

ラベル要素上のHコード及びPコード表示 必須

☒ 表示する ☐ 表示しない

ラベル作成支援機能として毒劇法で規制されている物質が混合物組成情報として含まれる場合に、ラベル上に「医薬用外劇物」又は「医薬用外毒物」と表示します。含有の判定はNITE-CHRIPに掲載されている毒劇法のリストのCAS登録番号にのみ基づき行っており、含有率は考慮されていません

表示させたい場合は「表示する」を、表示させる必要がない場合は「表示しない」を選択し、ラベルを出力して下さい

医薬用外劇物

医薬用外毒物

Step 4 ラベル出力

1. 必須事項を入力したら、ラベル出力する混合物にチェックをいれます

(1 件取得)

全件選択	選択削除	混合物ID	組成情報	分類結果	ラベル要素	レベル	注意書き件数
☒		NITE-MIX-1 サンプルシンナー	詳細情報	分類結果	ラベル要素	2	12件

サンプルシンナー

成分：

トルエン (50.0000000 %)	(CAS RN : 108-88-3)
メタノール (40.0000000 %)	(CAS RN : 67-56-1)
酢酸エチル (10.0000000 %)	(CAS RN : 141-78-6)

危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気(H226)
皮膚刺激(H315)
強い眼刺激(H319)
吸入すると有害(H332)
呼吸器への刺激のおそれ(H335)
眠気又はめまいのおそれ(H336)
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ(H360)
授乳中の子に害を及ぼすおそれ(H362)
中枢神経系、視覚器、全身毒性の障害(H370)
長期にわたる又は反復ばく露による中枢神経系、腎臓、視覚器の障害(H372)
水生生物に毒性(H401)
長期継続的影響によって水生生物に有害(H412)

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書入手すること。(P201)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)

容器を密閉しておくこと。(P233)

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)

妊娠中及び授乳中は接触を避けること。(P263)

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

【応急措置】

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)

特別な処置が必要である（このラベルの...を見よ）。(P321)

レベラー一括更新

優先順位一括適用

出力言語 日本語

ラベルの出力 (Xlsxファイル)

2. 「ラベル出力」をクリックします

* 営業秘密や個人情報等をラベル又はSDSに記載する必要がある場合は、本システム上（Step 4（ラベル出力）又はStep 5（SDS様式出力））ではなく、本システムからエクスポートしたファイルにご記載ください

Step 4 ラベル出力 混合物GHS分類結果のインポート

混合物のGHS分類・ラベル作成

Step 1 単一物質(成分)GHS情報 Step 2 混合物(製品)組成情報 Step 3 混合物GHS分類 **Step 4 ラベル出力** Step 5 SDS様式出力

←前のステップへ 次のステップへ→

Step4 分類結果に対応したラベルを出力する

GHS対応ラベル用の必要情報入力

会社(供給者)情報 ? 編集

会社名

注意書きレベル更新 レベル2 レベル一括更新

優先順位の表示設定 ? 適用する 優先順位一括適用

出力言語 日本語 ラベルの出力 (Xlsxファイル)

ラベル作成用に自分で編集した混合物(製品)のGHS情報をインポートする (Step3出力CSV)

インポートデータ作成方法

☒ 差分 ☐ 全件置換

インポート (CSVファイル) テンプレート

インポート処理が正常終了しました。
処理件数: 1件

Step3でエクスポートした混合物のGHS分類結果のファイルをインポートすることでStep4から作業を再開することが可能です

※ファイル名は以下となります

【Class_混合物ID_JIS or UN_yyyymmddhhmm.csv】

Step 5 SDS様式出力

Step 5のボタン◎を押すか、次のステップへ→で移動可能です

混合物のGHS分類・ラベル作成

Step 1 Step 2 Step 3 Step 4 Step 5

単一物質(成分)GHS情報 混合物(製品)組成情報 混合物GHS分類 ラベル出力 SDS様式出力

←前のステップへ 次のステップへ→

Step4 分類結果に対応したラベルを出力する

GHS対応ラベル用の必要情報入力

会社（供給者）情報

会社名

編集

混合物のGHS分類・ラベル作成

Step 1 Step 2 Step 3 Step 4 Step 5

単一物質(成分)GHS情報 混合物(製品)組成情報 混合物GHS分類 ラベル出力 SDS様式出力

←前のステップへ

Step5 分類結果をSDSの様式へ出力する

GHS対応SDS用の必要情報入力

会社（供給者）情報

会社名

住所

編集

Step4からStep5に移動します

Step 5 SDS様式出力

SDS要素の確認①

1. 「SDS要素」をクリックすると、別のウィンドウにSDS要素として出力される内容が表示されます

登録した混合物（製品）のGHS情報に基づくSDS要素を出力

混合物一覧

混合物（製品）名称

混合物（製品）ID

(1件取得)

全件選択	選択削除	混合物ID	混合物名称	組成情報	分類結果	SDS要素	注意紐付け
☐		NITE-MIX-1	メラミナルキド樹脂	詳細情報	分類結果	SDS要素	未

2. 「SDS要素」としてGHS/JISで定められた全16項目が表示されます

混合物(製品)名称(英)

判定ルール

組成情報一覧

物質ID	CAS登録番号	出典	化学物質(成分)名称	含有量	含有率(100%)	GHS分類情報
m-nite-108-88-3	108-88-3	NITE	トルエン	50	50	詳細情報
m-nite-67-56-1	67-56-1	NITE	メタノール	40	40	詳細情報
m-nite-141-78-6	141-78-6	NITE	酢酸エチル	10	10	詳細情報

SDS要素

▼ 1. 化学品及び会社情報	▼ 2. 危険有害性の要約	▼ 3. 組成及び成分情報
▼ 4. 応急措置	▼ 5. 火災時の措置	▼ 6. 漏出時の措置
▼ 7. 取扱い及び保管上の注意	▼ 8. ばく露防止及び保護措置	▼ 9. 物理的及び化学的性質
▼ 10. 安定性及び反応性	▼ 11. 有害性情報	▼ 12. 環境影響情報
▼ 13. 廃棄上の注意	▼ 14. 輸送上の注意	▼ 15. 適用法令
▼ 16. その他の情報		

※1 日本産業規格（JIS Z 7253）において記載が必須とされている項目
※2 日本産業規格（JIS Z 7253）において記載が必須（情報がない場合はその趣を記載する）とされている項目
※3 日本産業規格（JIS Z 7253）において記載が必須（該当する場合）とされている項目

Step 5 SDS様式出力

SDS要素の確認②

SDS要素

▼ 1. 化学品及び会社情報	▼ 2. 危険有害性の要約	▼ 3. 組成及び成分情報
▼ 4. 応急措置	▼ 5. 火災時の措置	▼ 6. 漏出時の措置
▼ 7. 取扱い及び保管上の注意	▼ 8. ばく露防止及び保護措置	▼ 9. 物理的及び化学的性質
▼ 10. 安定性及び反応性	▼ 11. 有害性情報	▼ 12. 環境影響情報
▼ 13. 廃棄上の注意	▼ 14. 輸送上の注意	▼ 15. 適用法令
▼ 16. その他の情報		

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 ※1	液体
色 ※1	
臭い ※2	
融点・凝固点 ※2	
沸点又は初留点及び沸点範囲 ※2	
可燃性 ※2	
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 ※2	
引火点 ※2	19.5 °C
自然発火点 ※2	

1. SDS要素の各項目を選択すると、各項目で定められた小項目が展開します

2. 各小項目の編集ボタンを選択すると編集画面がポップアップします

SDS小項目編集

混合物(製品)ID	NITE-MIX-1
混合物(製品)名称	サンプルシンナー
SDS項目	9. 物理的及び化学的性質
SDS小項目	物理状態 ※1
液体	

液体

閉じる 更新

3. 編集画面で入力し更新することで記載内容を一時保存できます

Step 5 SDS様式出力

SDS要素の確認③

混合物GHS分類判定一覧

混合物（製品）名称

混合物（製品）ID

分類判定実施 ☐ 未実施 ☐ 実施済 ☒ すべて

(1 件取得)

全件選択	選択削除	混合物(製品)ID	混合物名称	組成情報等	分類結果
☐		NITE-MIX-1	サンプルシンナー	詳細情報	済 分類結果

Step3で行った分類の結果はSDS要素の各項目に反映されています

- GHS分類結果
→「2.危険有害性の要約」
- 組成成分の情報
→「3.組成及び成分情報」
- 健康有害性の分類根拠
→「11.有害性情報」
- 環境有害性の分類根拠
→「12.環境影響情報」

SDS要素		
▼ 1. 化学品及び会社情報	▼ 2. 危険有害性の要約	▼ 3. 組成及び成分情報
▼ 4. 応急措置	▼ 5. 火災時の措置	▼ 6. 漏出時の措置
▼ 7. 取扱い及び保管上の注意	▼ 8. ばく露防止及び保護措置	▼ 9. 物理的及び化学的性質
▼ 10. 安定性及び反応性	▼ 11. 有害性情報	▼ 12. 環境影響情報
▼ 13. 廃棄上の注意	▼ 14. 輸送上の注意	▼ 15. 適用法令
▼ 16. その他の情報		

Step 5 SDS様式出力

SDS要素へ情報の反映

会社（供給者）情報

会社（供給者）情報

編集

会社名
(販売元) ooo株式会社
(製造者) 株式会社△△△

住所
(販売元) 東京都oo区
(製造者) 神奈川県oo市oo区

電話番号
03-XXXX-XXXX

電子メールアドレス
hanbai@xxxx.co.jp

ファクシミリ(FAX)番号
03-XXXX-XXXX

緊急連絡番号
03-XXXX-XXXX

会社（供給者）情報のSDS要素へ反映

Step 4で入力した情報がStep 5でも引き継がれます

1. 会社（供給者）情報は初期状態ではSDS要素に反映されておられません。SDS様式での出力ファイルに反映させる場合は、必ず「会社（供給者）情報のSDS要素への反映」のボタンを押してください

サンプルシナリー

(販売元) ooo株式会社
(製造者) 株式会社△△△

(販売元) 東京都oo区
(製造者) 神奈川県oo市oo区

03-XXXX-XXXX

hanbai@xxxx.co.jp

03-XXXX-XXXX

03-XXXX-XXXX

電話番号 ※1

電子メールアドレス

ファクシミリ (FAX) 番号

緊急時連絡先番号

推奨用途

国内製造事業者等の情報

備考

2. 反映行くと全ての混合物のSDS要素「1. 化学品及び会社情報」に上書きされます

Step 5 SDS様式出力

SDS要素へ情報の反映

法律情報等のSDSへの紐づけ

(1件取得)

全件選択 選択削除	混合物ID	混合物名称	組成情報	分類結果	SDS要素	法令紐付け	注意紐付け
☒	NITE-MIX-1	サンプルシンナー	詳細情報	分類結果	SDS要素	未	未

CAS RNに基づく法律情報等の紐づけ

SDS様式の出力 (Xlsxファイル)

13. 廃棄上の注意

14. 輸送上の注意

16. その他の情報

1. 混合物を選択し「CAS RNに基づく法律情報等の紐づけ」を実行します

NITE-GmiccsはNITE-CHRIPの一部法規制情報を収載しており、混合物の組成成分に法規制等の対象物質が含まれる場合は含有を判定し、SDS要素に法律等の対象物質であることを記載をします

2. 混合物の組成物質に法律等の対象物質がある場合にSDS要素の「15. 適用法令」、「3. 組成及び成分情報」等の項目に該当する情報を上書きします

労働安全衛生法 ※1	酢酸エチル (10.0000000 %) (CAS RN : 141-78-6) ; ラベル表示・SDS交付義務対象物質 (令別表第9の177) 【酢酸エチル】 ; ラベル表示・SDS交付義務対象物質 (規則別表第2の595) 【酢酸エチル】	編集
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) ※1	トルエン (50.0000000 %) (CAS RN : 108-88-3) ; 第一種 政令番号 (1-347) 管理番号 (300) 【トルエン】	編集
毒物及び劇物取締法 ※1	メタノール (40.0000000 %) (CAS RN : 67-56-1) ; 法律・劇物 (法律別表第2の83) 【メタノール】 酢酸エチル (10.0000000 %) (CAS RN : 141-78-6) ; 政令・劇物 (政令第2条第1項第30号の3) 【酢酸エチル】 トルエン (50.0000000 %) (CAS RN : 108-88-3) ; 政令・劇物 (政令第2条第1項第76号の2) 【トルエン】	編集
その他の国内法令	トルエン (50.0000000 %) (CAS RN : 108-88-3) ; 大防法・揮発性有機化合物 (VOC) (法第2条第4項) 【大気中に排出され、又は飛散した時に気体である有機化合物 (浮遊粒子状物質及びオキシダントの生成の原因とならない物質として政令で定める物質を除く。)】 ; 大防法・有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質 (中環審第9次答申(別表1)の141) 【トルエン】 ; 大防法・有害大気汚染物質に該当	編集
外国法令等		編集
備考		編集

※1 日本産業規格 (JIS Z 7253) において記載が必須とされている項目

(参考) Gmiccsで参照可能な NITE-CHRIPの法規制等

混合物に含まれる組成成分のCAS登録
番号がNITE-CHRIPに掲載されている
一部法律リスト(右図)に該当する場合
はSDSの該当項目に情報を出力

NITE-CHRIP

NITE化学物質総合情報提供システム

連 携

NITE-CHRIPではすべての法律対象物質を収載して
いるわけではないため、**不足する情報は利用者で追記
する必要があります。**

またCAS登録番号で紐付かない場合は**判定ができません。**→詳細はNITE-CHRIP収載情報を参照のこと。

※各法律における裾切値等は考慮していません。
含有有率により裾切値がある場合はご注意下さい。

Step 5 SDS様式の出力

NITE-CHRIPに掲載されている 一部の法律情報等	SDS要素出力項目	SDS要素出力小項目
化審法：第一種特定化学物質	1 5. 適用法令	その他の国内法令
化審法：既存化学物質	3. 組成及び成分情報	官報公示整理番号(化審法)
化審法：新規公示化学物質(2011年4月1日 以降届出)	3. 組成及び成分情報	官報公示整理番号(化審法)
化審法：新規公示化学物質(2011年3月31 日以前届出)	3. 組成及び成分情報	官報公示整理番号(化審法)
安衛法：名称公表化学物質	3. 組成及び成分情報	官報公示整理番号(安衛法)
安衛法：新規名称公表化学物質	3. 組成及び成分情報	官報公示整理番号(安衛法)
化管法	1 5. 適用法令	化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)
毒物及び劇物取締法	1 5. 適用法令	毒物及び劇物取締法
安衛法：表示対象物、通知対象物	1 5. 適用法令	労働安全衛生法
安衛法：特定化学物質障害予防規則	1 5. 適用法令	労働安全衛生法
安衛法：皮膚等障害化学物質等及び特別規則に 基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質	1 5. 適用法令	労働安全衛生法
安衛法：がん原性物質(安衛則)(作業記録等 の30年保存対象物質)	1 5. 適用法令	労働安全衛生法
大気汚染防止法	1 5. 適用法令	その他の国内法令
水質汚濁防止法	1 5. 適用法令	その他の国内法令
土壌汚染対策法	1 5. 適用法令	その他の国内法令
消防法	1 5. 適用法令	その他の国内法令
日本産業衛生学会：許容濃度	8. ばく露防止及び保護措置	許容濃度
安衛法：化学物質による健康障害防止のための濃 度の基準(濃度基準値設定物質)	8. ばく露防止及び保護措置	許容濃度
REACH：高懸念物質(SVHC)	1 5. 適用法令	その他の国内法令

Step 5 SDS様式出力

SDS要素へ情報の反映

注意書き文言等のSDSへの紐づけ

ラベル要素として求められるGHSの危険有害性区分に割り当てられたGHSが推奨する注意書きのコード（Pコード）に規定されている文言を参考情報としてSDS様式上の各項目に記載できます

1. 混合物を選択し「GHS分類結果に基づく注意書き文言等の紐づけ」を実行します

(1件取得)

混合物ID	混合物名称	組成情報	分類結果	SDS要素	法令紐付け	注意紐付け
☒	NITE-MIX-1	サンプルシンナー	詳細情報	分類結果	SDS要素	済

[CAS RNに基づく法律情報等の紐づけ](#) [GHS分類結果に基づく注意書き文言等の紐づけ](#)

[SDS様式の出力 \(Xlsxファイル\)](#) [エクスポート \(CSVファイル\)](#)

SDS要素

1. 化学品及び会社情報	2. 危険有害性の要約	3. 組成及び成分情報
4. 応急措置	5. 火災時の措置	6. 漏出時の措置
7. 取扱い及び保管上の注意	8. ばく露防止及び保護措置	9. 物理的及び化学的性質
10. 安定性及び反応性	11. 有害性情報	12. 環境影響情報
13. 廃棄上の注意	14. 輸送上の注意	15. 適用法令
16. その他の情報		

4. 応急措置

吸入した場合 ※1	
皮膚に付着した場合 ※1	特別な処置が必要である（このラベルの...を見よ）。 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
眼に入った場合 ※1	

2. 混合物のGHS分類結果に基づき割り当てられる注意書きのコード（Pコード）がある場合はSDS要素の「4. 応急措置」、「5. 火災時の措置」、「6. 漏出時の措置」等の項目にPコードに紐づく文言を上書きします

Step 5 SDS様式出力

【参考】SDS要素に上書きされる注意書き（Pコード）について

混合物のGHS分類結果にGHSが推奨する注意書きのコード（Pコード）が紐づく場合は規定されている文言を右図に従ってSDSの各項目に出力します。

GHS/JISで定められた注意書きコードの種類	該当するPコード	SDS要素 出力項目
安全対策の注意書きコード	P2XX	7. 取扱い及び保管上の注意 8. ばく露防止及び保護措置 等
応急措置の注意書きコード	P3XX	4. 応急措置 5. 火災時の措置 6. 漏出時の措置
保管（貯蔵）の注意書きコード	P4XX	7. 取扱い及び保管上の注意
廃棄の注意書きのコード	P5XX	13. 廃棄上の注意

※それぞれのPコードで規定する文言をSDS要素のどの小項目に出力するのかについてはNITEで細かく設定を行っています。
詳細についてはNITE-Gmiccsの「使い方」のページに掲載されている以下のファイルをご参照ください。

【別紙】注意書き文言のSDS上の出力先リスト

https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.ghs.nite.go.jp%2Flink%2Fja%2Fcontents%2Fgmics_precautions_sds_20220331.xlsx&wdOrigin=BROWSELINK

Step 5 SDS様式出力

SDS要素の出力 xlsxファイル

1. 必須事項を入力したら、SDS様式出力する混合物にチェックをいれます

2. 「SDS様式の出力」をクリックします

The screenshot shows the NITE-Gmiccs interface with the following elements:

- Top navigation bar: 全件選択, 選択削除, 混合物ID, 混合物名称, 組成情報, 分類結果, SDS要素, 法令紐付け, 注意紐付け.
- Table header: NITE-MIX-1, サンプルシンナー, 詳細情報, 分類結果, SDS要素, 済, 済.
- Bottom navigation bar: CAS RNIに基づく法律情報等の紐づけ, GHS分類結果に基づく注意書き文言等の紐づけ.
- Buttons: SDS様式の出力 (xlsxファイル), エクスポート (CSVファイル).

安全データシート (SDS)

1. 化学品等及び会社情報		
化学品の名称（日本語）	サンプルシンナー	
製品コード		
供給者の会社名	（販売元）ooo株式会社 （製造者）株式会社△△△	
住所	（販売元）〒XXXX-XXXX 東京 都oo区 （製造者）〒XXX-XXXX 神奈 川県oo市oo区	
電話番号	03-XXXX-XXXX	
電子メールアドレス	hanbai@XXXX.co.jp	
ファックス番号	03-XXXX-XXXX	
緊急連絡電話番号	03-XXXX-XXXX	
推奨用途		
使用上の制限		
国内製造事業者等の情報		
備考		
2. 危険有害性の要約		
GHS分類		
物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない（分類対象外）
	エアゾール	区分に該当しない（分類対象外）
	酸化性ガス	区分に該当しない（分類対象外）
	高圧ガス	区分に該当しない（分類対象外）
	引火性液体	区分3
	可燃性固体	区分に該当しない（分類対象外）
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない（分類対象外）
	自己発熱性化学品	分類できない

SDS様式は編集しやすく、人が可読しやすいエクセルファイル形式で出力することができます。
このエクセルファイルは再度、Gmiccsに取り込むことはできません
※NITE-Gmiccs上にはすべてのデータが保存されませんので、データは必ずエクスポートして保管ください

* 営業秘密や個人情報等をラベル又はSDSに記載する必要がある場合は、本システム上 (Step 4 (ラベル出力) 又はStep 5 (SDS様式出力)) ではなく、本システムからエクスポートしたファイルにご記載ください

Step 5 SDS様式出力

SDS要素の出力 csvファイル

全件選択 選択削除

混合物ID 混合物名称

組成情報 分類結果 SDS要素 法令紐付け 注意紐付け

☒ NITE-MIX-1 サンプルシンナー [詳細情報](#) [分類結果](#) [SDS要素](#) 済 済

CAS RNIに基づく法律情報等の紐づけ ?

GHS分類結果に基づく法律情報等の紐づけ ?

[SDS様式の出力 \(xlsxファイル\)](#) [エクスポート \(CSVファイル\)](#)

1. 必須事項を入力したら、SDS様式を出力する混合物にチェックをいれます

2. 「エクスポート」をクリックします

混合物ID	NITE-MIX-1								
混合物(製品)名称(日)	サンプルシンナー								
混合物(製品)名称(英)									
作成日	2025/7/30								
改訂日									
判定ルール	JIS								
対応版	GHS 6版								
化学品の名称 (日本語)	サンプルシンナー								
製品コード									
供給者の会社名	(販売元) ooo株式会社 (製造者) 株式会社△△△								
住所	(販売元) 〒XXX-XXXX 東京都oo区 (製造者) 〒XXX-XXXX 神奈川県oo市oo区								
電話番号	03-XXXX-XXXX								
電子メールアドレス	hanbai@XXXX.co.jp								
ファックス番号	03-XXXX-XXXX								
緊急連絡電話番号	03-XXXX-XXXX								
推奨用途									
使用上の制限									
国内製造事業者等の情報備考									
爆発物	分類できない								
可燃性ガス	区分に該当しない (分類対象外)								
エアゾール	区分に該当しない (分類対象外)								
酸化性ガス	区分に該当しない (分類対象外)								
高圧ガス	区分に該当しない (分類対象外)								
引火性液体	区分3								
可燃性固体	区分に該当しない (分類対象外)								
自己反応性化学品	分類できない								
自然発火性液体	分類できない								
自然発火性固体	区分に該当しない (分類対象外)								
自己発熱性化学品	分類できない								

再度、NITE-Gmiccsで作業するために、SDS様式をCSV形式で出力します。CSV形式のファイルはNITE-Gmiccsに読み込むことができます

※NITE-Gmiccs上にはすべてのデータが保存されませんので、データは必ずエクスポートして保管ください

Step 5 SDS様式出力

SDS要素ファイル（CSV形式）のインポートと作業の再開

Step 3 でエクスポートした混合物のGHS分類結果のファイルをインポートすることができます

Step 5 でエクスポートした混合物のSDS様式のファイル（CSV形式に限る）をインポートすることができます

取り込んだデータは一覧に表示され、SDSの編集が再開できます

The screenshot shows the main application interface. At the top, there are tabs for '全件選択' (Select All), '選択削除' (Delete Selection), '混合物ID' (Mixture ID), and '混合物名称' (Mixture Name). Below these is a table with columns for '組成情報' (Composition Information), '分類結果' (Classification Results), 'SDS要素' (SDS Elements), '法令紐付け' (Legal Linkage), and '注意紐付け' (Note Linkage). The first row of the table shows 'NITE-MIX-1' and 'サンプルシンナー' (Sample Solvent). Below the table, there are buttons for '詳細情報' (Detailed Information), '分類結果' (Classification Results), and 'SDS要素' (SDS Elements). At the bottom, there are buttons for 'CAS RNに基づく法律情報等の紐づけ' (Linkage of legal information based on CAS RN), 'GHS分類結果に基づく注意書き文言等の紐づけ' (Linkage of warning text based on GHS classification results), 'SDS様式の出力 (Xlsxファイル)' (Output of SDS template (Xlsx file)), and 'エクスポート (CSVファイル)' (Export (CSV file)).

The screenshot shows the import process for GHS information and SDS elements. It consists of two panels. The top panel is titled 'SDS作成用に自分で編集した混合物（製品）のGHS情報をインポートする（Step3出力CSV）' (Import GHS information for mixtures (products) you have edited for SDS creation (Step 3 output CSV)). It has a section 'インポートデータ作成方法' (Import data creation method) with radio buttons for '差分' (Difference) and '全件置換' (Replace all). Below this is a blue button labeled 'インポート (CSVファイル)' (Import (CSV file)) and a grey button labeled 'テンプレート' (Template). Below the button, it says 'インポート処理が正常終了しました。' (Import processing completed normally.) and '処理件数: 1件' (Number of items processed: 1). The bottom panel is titled '対象となる混合物（製品）のSDS要素をインポートする（Step5出力CSV）' (Import SDS elements for the target mixture (product) (Step 5 output CSV)). It has a similar 'インポートデータ作成方法' section with radio buttons for '差分' (Difference), '全件置換' (Replace all), and '一部要素置換' (Replace some elements). Below this is a blue button labeled 'インポート (CSVファイル)' (Import (CSV file)) and a grey button labeled 'テンプレート' (Template). Below the button, it says 'インポート処理が正常終了しました。' (Import processing completed normally.) and '処理件数: 1件' (Number of items processed: 1).

Step 5 SDS様式出力

【参考】SDS要素ファイル（CSV形式）の一部要素置換インポート

「一部要素置換」機能を用いることで他の混合物（製品）のSDS要素を作成したい混合物のSDS要素として流用することができます

取り込んだ又は作成した混合物のSDS要素に対して他の混合物の一部SDS要素を置換する機能があります。

詳細についてはNITE-Gmiccsの「使い方」のページに掲載されている以下のファイルをご参照下さい。

【別紙】一部要素置換で置き換えられるSDSの項目リスト

https://www.ghs.nite.go.jp/link/ja/contents/gmiccs_replaceSDS_20220331.xlsx

SDS作成用に自分で編集した混合物（製品）のGHS情報をインポートする（Step3出力CSV）

インポートデータ作成方法

☒ 差分 ☐ 全件置換

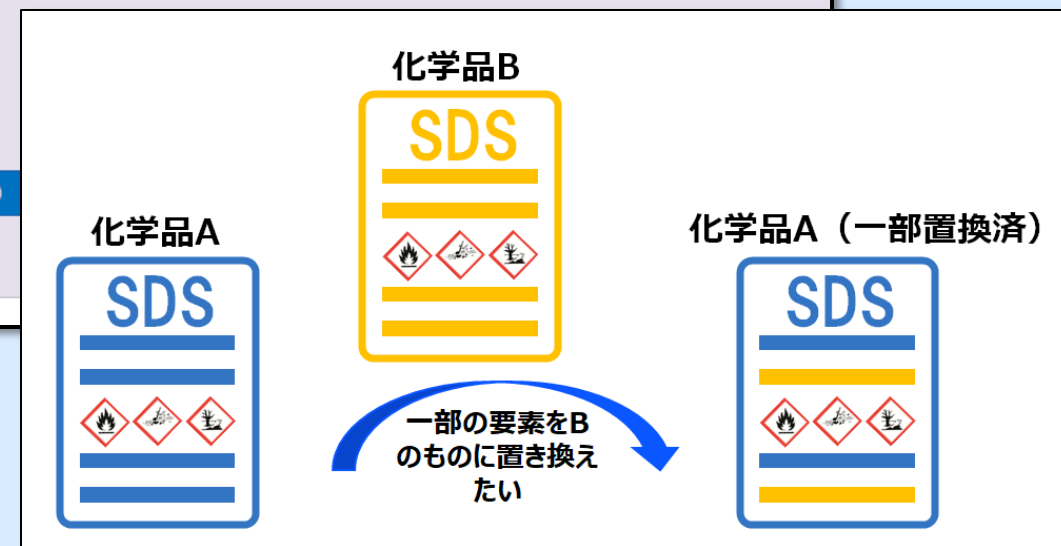
☒ インポート（CSVファイル） ☐ テンプレート

対象となる混合物（製品）のSDS要素をインポートする（Step5出力CSV）

インポートデータ作成方法

☒ 差分 ☐ 全件置換 ☐ 全要素置換 ☒ 一部要素置換

☒ インポート（CSVファイル）



詳細なSDS項目も含めて作成した化学品BのSDSの一部項目を類似化学品AのSDS項目にまとめて記載できます。

※「4. 応急処置」、「7. 取り扱いおよび保管上の注意」、「9. 物理的および化学的性質」などNITE-Gmiccsでは対応が難しい項目



3. NITE-Gmiccsの 注意事項と便利機能

注意事項 その1

混合物ID、化学物質IDに使える記号の制限 半角英数字のみ（スペース、ハイフン、アンダーバーは使用可能）

混合物ID	必須	?	半角英数字のみ（スペース、ハイフン、アンダーバーは使えます）
混合物(製品)名称(日)	必須	?	
混合物(製品)名称(英)		?	

GmiccsはWebブラウザ上で作動システムであるため
ソースコードに影響する可能性のある文字については
IDに使用できない
(経済産業省インストール版から移行時に注意)

使えない記号等

¥(円マーク)
/(スラッシュ)
:(コロン)
*(アスタリスク)
?(クエスチョン)
"(ダブルクォーテーション)
<(左かっこ、不等号)
>(右かっこ、不等号)
|(パイプ)
[(左大かっこ)
](右大かっこ)
'(シングルクォーテーション)
%(パーセント)
#(シャープ)

注意事項 その2

【NITE-Gmiccsにおける物理化学的危険性の分類判定】

- NITE-Gmiccsでは物理化学的危険性については基本的に分類不可
- 判定する場合も“混合物”としてのデータ（引火点、初留点、国連番号）からできる場合がある
- 組成成分に物理化学的危険性が付与されていてもNITE-Gmiccsで混合物分類判定を実行した際に混合物の分類結果に物理化学的危険性の区分は引き継がれない
- 単一化学物質をNITE-Gmiccsにいて単一化学物質のラベルやSDSを作成する場合、物理化学的危険性の区分は消滅するので注意が必要

分類できる一部の項目についても、混合物としてのデータ（引火点）を入力しなければならない

分類後に自分で区分を設定する必要がある

混合物（製品）の基本情報

基本情報

混合物ID 必須 ?

混合物(製品)名称(日) 必須 ?

混合物(製品)名称(英) ?

混合物GHS分類用の必要情報

国連番号 検索 クリア ?

物理化学的性状 必須 ?

引火点 ? °C

初留点 (沸点) ? °C

動粘性 ? mm2/s

注意事項 その3

法律対象物質の閾値について

NITE-Gmiccsでは混合物中に毒劇法や安衛法、化管法対象物質が含まれる
(CHRIP掲載のCAS登録番号で判定) 場合にラベルやSDS様式上に印字する機能
がある

ただし、**法律上の閾値や適用除外については考慮していない**ため、該当しない場合は
ユーザー自身で確認する必要がある。

例) メタノール (CAS RN:67-56-1)

毒劇法: 原体のみが対象

安衛法: 表示の対象となる範囲 (重量%) ≥ 0.3

通知の対象となる範囲 (重量%) ≥ 0.1

15. 適用法令

労働安全衛生法 ※1	エチルベンゼン (6.1000000 %) (CAS RN : 100-41-4) ; ラベル表示・SDS交付義務対象物質 (令別表第8の70) 【エチルベンゼン】 ; ラベル表示・SDS交付義務対象物質 (規則別表第2の247) 【エチルベンゼン】 ; 特 化則 (第二類物質) 【エチルベンゼン】 ; 不浸透性保護具使用義務物質 【エチルベンゼン】 ; 区分 【特化則等】 キシレン (7.5000000 %) (CAS RN : 1330-20-7) ; ラベル表示・SDS交付義務対象物質 (令別表第9の136) 【キシレン】 ; ラベル表示・SDS交付義務対象物質 (規則別表第2の426) 【キシレン】 ; 不浸透性保護具使	編集
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) ※1	エチルベンゼン (6.1000000 %) (CAS RN : 100-41-4) ; 第一種 政令番号 (1-073) 管理番号 (53) 【エチルベンゼン】 キシレン (7.5000000 %) (CAS RN : 1330-20-7) ; 第一種 政令番号 (1-103) 管理番号 (80) 【キシレン】 クロム (VI) 酸鉛 (14.4000000 %) (CAS RN : 7758-97-6) ; 特定第一種 政令番号 (1-112) 管理番号 (88) 【六価クロム化合物】 ; 特定第一種 政令番号 (1-353) 管理番号 (697) 【鉛及びその化合物】	編集
毒物及び劇物取締法 ※1	キシレン (7.5000000 %) (CAS RN : 1330-20-7) ; 政令・劇物 (政令第2条第1項第22号の4) 【キシレン】 メチルエチルケトン (4.0000000 %) (CAS RN : 78-93-3) ; 政令・劇物 (政令第2条第1項第9号の13) 【メチルエチルケトン】 クロム (VI) 酸鉛 (14.4000000 %) (CAS RN : 7758-97-6) ; 政令・劇物 (政令第2条第1項第26号) 【クロム酸塩及びこれを含有する製剤。ただし、クロム酸鉛 7 0 %以下を含有するものを除く。】 ; 政令・劇物 (政	編集
その他の国内法令	クロム (VI) 酸鉛 (14.4000000 %) (CAS RN : 7758-97-6) ; 大防法・ばいり (有害物質) (政令第1条第4号) 【鉛及びその化合物】 ; 大防法・有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質 (中環第9次答申(別表1)の 49) 【クロム及びその化合物】 ; 大防法・有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質 (優先取組物質) (中環第9次答申(別表2)の6) 【六価クロム化合物】 ; 水濁法・有害物質 (政令第2条第4号) 【鉛及びその化 合物】 ; 水濁法・有害物質 (政令第2条第5号) 【六価クロム化合物】 ; 土対法・第2種特定有害物質 (政令第1条第2号) 【六価クロム化合物】 ; 土対法・第2種特定有害物質 (政令第1条第20号) 【鉛及びその化合物】	編集

毒物及び劇物取締法に該当する組成成分を含む場合の「医薬用外毒物」「医薬用外劇物」の表示 必須 ?

☒ 表示する ☐ 表示しない

医薬用外劇物

便利機能

複数物質のまとめてインポートについて

Step1 混合物（製品）に含有される化学物質（成分）のGHS情報等を入力・確認する

化学物質（成分）の入力

・複数の化学物質（成分）をまとめて入力する

インポートデータ作成方法

☒ 差分置換 ☐ 全件置換

☒ インポート（CSVファイル）

ラベル作成用に自分で編集した混合物（製品）のGHS情報をインポートする

インポートデータ作成方法

☒ 差分 ☐ 全件置換

☒ インポート（CSVファイル）

テンプレート

Step2 混合物（製品）の基本情報及び組成情報を入力する

混合物（製品）の入力

・複数の混合物（製品）をまとめて入力する

インポートデータ作成方法

☒ 差分置換 ☐ 全件置換

☒ インポート（CSVファイル）

SDS作成用に自分で編集した混合物（製品）のGHS情報をインポートする（Step3出力CSV）

インポートデータ作成方法

☒ 差分 ☐ 全件置換

☒ インポート（CSVファイル）

テンプレート

対象となる混合物（製品）のSDS要素をインポートする（Step5出力CSV）

インポートデータ作成方法

☒ 差分 ☐ 全件置換

☒ 全要素置換 ☐ 一部要素置換

☒ インポート（CSVファイル）

エクスポートしたCSVファイル又はテンプレートで編集したCSVファイルにより複数の混合物、複数の化学物質データをまとめてインポート可能

エクスポートしたすべてのCSVファイルで大量のデータの取扱いが可能

※CSVファイルをそのままExcelで開くとCAS登録番号が日付認識されるなどのエラーが起きやすいのでCSVファイルとして編集すること

インポート/エクスポートファイルの修正方法について
https://www.ghs.nite.go.jp/link/ja/contents/gmiccs_File_Correction_manual_20210401.pdf

【参考】 NITE-Gmiccsにおける国連番号からの分類①

UN1170

国連番号とは、TDGにおいて4桁の数字
で定義されたコード 約3,000種

例えば上の国連番号には、、、
品名：エタノール又はその溶液
クラス・等級：3
容器等級：II
という情報が定義されている



“**TDG**” (**UNRTDG**ともいう) は、**United Nations Recommendations on the Transport of Dangerous Goods** (国連危険物輸送に関する勧告) の省略名

海路や陸路で危険物を国境を超えて安全に行き来させるための、輸送方法や容器、危険有害性の情報伝達など、国際的なルールがTDG

GHSにおける物理化学的危険性の試験方法や判定基準は、その多くがTDGと同じ

分類事例) エタノールを70%含む製品について、国連番号を1170と決めた。
国連番号から分類できる場合があるとのことで、NITE-Gmiccsで利用したい。

【参考】 NITE-Gmiccsにおける国連番号からの分類②

UN1170

品名：エタノール又はその溶液

クラス・等級：3

容器等級：Ⅱ

混合物（製品）の基本情報

基本情報

混合物ID 必須

製品名称(日) 必須

製品名称(英)

混合物GHS分類用の必要情報

国連番号

物理化学的性状 必須

引火点 °C

1. まずは「検索」をクリック

3. 選択が反映

2. ポップアップ画面から該当する国連番号を選択し、「確定」をクリック

国連番号の検索

国連番号

品名

国連番号	品名	国連分類
1165	ジオキサン	3
1166	ジオキソラン	3
1167	ジピニルエーテル (安定剤入りのもの)	3
1167	ジピニルエーテル (安定剤入りのもの)	3
1167	ジピニルエーテル (安定剤入りのもの)	Ⅱ 128P
1167	ジピニルエーテル (安定剤入りのもの)	Ⅲ 128P
1170	エタノール (エチルアルコール)	3
1170	エタノール (エチルアルコール)	3
1170	エタノール溶液 (エチルアルコール溶液)	Ⅱ 127
1170	エタノール溶液 (エチルアルコール溶液)	Ⅲ 127
1171	エチレングリコールモノエーテル	3
1172	エチレングリコールモノエーテルアセテート	3
1173	酢酸エチル	Ⅱ 129

【分類結果】

引火性液体

UNRTDG クラス3、「副次危険(-) 容器等級(Ⅱ) 指針番号(127)」のため、区分2 (H225:引火性の高い液体及び蒸気) に該当する。

※国連番号の該当・非該当は事業者の責任に基づく

NITE-Gmiccsに関する補足

NITE-GmiccsのTopページ



TOPページの上帯には各種説明等掲載しています。ご参照ください。

＜使い方：NITE-Gmiccsの概要、使い方等を掲載しています＞

✓ NITE-Gmiccsの概要と使い方事例

＜分類ロジック：分類判定方法についての説明を記載しています＞

✓ NITE-Gmiccs分類ロジック